

# 愛鳥週間写真展 作品募集のお願い

名古屋市では毎年春と秋の愛鳥週間に合わせて野鳥写真展を行ってきました。今年度も平成23年5月10日から16日の愛鳥週間に合せて行われる野鳥写真展に日頃、野鳥観察を通して写真撮影を楽しんでいる方からの作品を募集します。

## 写真展の趣旨

市民の声でゴミ埋立から守られた藤前干潟は名古屋市のゴミを減量する画期的転換の契機にもなり、昨年の秋には名古屋で COP10 も行われ、多くの市民の方にも名古屋の自然環境に関心が集まっています。また「名古屋の野鳥」の生息調査で確認されただけでも200種近くの鳥類が名古屋市内で観察できています。

4月から5月の水辺では日本や東南アジア・オーストラリア方面で冬を越した冬鳥や旅鳥が繁殖のため北に移動途中に休息のため飛来します。里山や公園には繁殖のため渡って来る夏鳥を観察できる季節です。

今回の作品募集内容は皆様が撮影した、自然美を感じさせてくれる野鳥作品を募集します。

## 募集作品内容

市内及び国内で撮影された作品を募集します。

- 鳥のいる風景) 野鳥がいる景色・環境写真。
- 野鳥の生態) 野鳥の可愛いらしい姿、厳しさ等、野鳥の行動・生態が伝わる写真。

上記二つのテーマでお願いします。

## 募集規定

募集期間平成23年4月20日

応募作品は1人各部門2枚まで、サイズは A4 サイズ、応募者自身でプリントをお願いします。規定用紙にテーマ・撮影日時・撮影機材・コメントを記入の上、4月20日までに名古屋市野鳥観察館まで郵送および、ご持参下さい。

展示パネルは名古屋野鳥観察館指定管理者 東海・稲永ネットワークが用意します。なお応募者多数の場合枚数の制限及び先着順とします。

〒455-0845 名古屋市港区野跡4-11-2稲永公園内名古屋市野鳥観察館  
TEL052-381-0160

## 作品展示場所

平成23年 4月29日より5月29日まで、名古屋市野鳥観察館で展示します。

## その他、名古屋市野鳥観察館、指定管理者からのお願い

その後出品作品の中から名古屋市野鳥観察館他で展示をお願いすることもあります。

作品のご返却は、6月上旬を予定しております。作品の取り扱いには細心の注意を払いますが、万が一、傷ついたり汚れたりした場合にはご了承願います

今回の写真展は新しい企画のため参加される方に色々とお不便、ご迷惑をおかけすることがあります

ますが、長期にわたって続けて行きたい企画と考えています。  
今回の写真展の開催、作品募集について自然保護の観点から下記のことをお守ください。

近年、デジスコや高倍率のコンパクトデジカメの普及により、以前より手軽に野鳥撮影を楽しむことができるようになりました。それはとても良いことだと思いますが、一方で撮影のマナーが非常に悪いと感じる方も見かけます。良い写真を求めるあまり、生息環境を荒らしたり、鳥への危害や生態系への影響を与えているケースもあります。

#### 1.餌付け

見栄えのよい場所や撮影者の近くに大量のエサを撒き、鳥を寄せて撮影をする人がいます。冬期のエサ不足を補うために、いち早く危険を察知できようなオープンな場所や餌台などで適度にエサをあげることは有意義ですが、過度な餌付けは人に慣れすぎたり、ネコなどの捕食者に狙われる危険が高くなります。また、エサによっては生態系に外来種を持ち込むことにもなりかねません。むやみに餌付けはしないようにしましょう。

#### 2.環境の破壊

撮影しやすいようにと障害物となる樹木を折る、草を刈る、川の石を移動する行為。さらにそこにとまり木を立てたり、流れをせき止めて池を作ったり、水槽を置くなど、環境を改変する行為はやめましょう。

#### 3.場所の占有

他の人の前に陣取って周りを気にせず、わがもの顔に撮影する人がいます。鳥は誰のものでもありません。例え餌付けを始めた人であっても、周りに気を配りましょう。また、目当ての鳥を待つ間、大声でしゃべっている人もいます。マナーを守って、他の撮影者、バードウォッチャーの迷惑にならないようにしましょう。

#### 4.営巣個体の撮影

巣の前で待ち構え、長時間にわたり撮影を行うことは、鳥にストレスを与えるばかりでなく、給餌も滞って繁殖に影響を及ぼす恐れもあります。エサを持って警戒している親鳥がいたらそこから立ち去る、巣には近づかない、ストロボ撮影は控えるなどの配慮をお願いします。

このほか、私有地には入らない、ゴミは持ち帰るなどは最低限のルールです。他人の庭にカメラを向けるなどの行為も慎みましょう。鳥たちの生活に影響を与えないように、また、バードウォッチャー同士気持ちよく撮影・観察ができるように、ひとりひとりがマナーに気をつけましょう。

日本鳥類保護連盟 野鳥撮影のルール参照)

なお、これらの行為で撮影されたと判断した写真や営巣中の写真は、今回の野鳥写真展の作品には採用いたしません。

愛鳥週間野鳥写真展主催 名古屋市野鳥観察館 指定管理者 東海・稲永ネットワーク

協力 名古屋市

---

お問い合わせ先 名古屋市野鳥観察館

〒455-0845 名古屋市港区野跡4-11-2 稲永公園内 名古屋市野鳥観察館  
Tel.052-381-0160

# 名古屋市愛鳥週間 写真展 応募用紙

受付日： 年 月 日

ふりがな 氏 名		年 齡	歳
住 所	〒		
電話番号	— —	F A X	— —
タイトル			
撮影場所	名古屋市 区 付近	テーマ ※○で囲む	鳥のいる風景 野鳥の生態
コメント (120字以内)			

※展示の際には撮影場所を〇〇区〇〇川河口や〇〇公園と表示しますが、主催者側の判断で区までの表示とする場合があります。

----- キ リ ト リ -----

# 名古屋市愛鳥週間 写真展 応募用紙

タイトル			
撮影場所	名古屋市 区 付近	テーマ ※○で囲む	鳥のいる風景 野鳥の生態
氏 名			

展示 No.

地域 No.

※応募作品の裏面にテープで貼り付けてください。